

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2026 年 7 月 10 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	中谷運輸株式会社
所 在 地	〒552-0022 大阪府大阪市港区海岸通 1 丁目 5 番 22 号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 中谷 庄司朗
担 当 者 連 絡 先	電 話：06-6572-5021
	メール：sohmu-etc@nakatani-osaka.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://unyu.nakatani-grp.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

・1902 年（明治 35 年）に大阪港にて創業以来、大阪港の発展とともに業容・業域を広げて参りました。 ・港湾運送事業を中核とし、輸出梱包・機器設備メンテナンス・各種工事等も手掛け、港のあらゆるエリアで安全・高品質で効率的なサービスを提供しています。 ・社は「和と誠実」の企業精神のもと、グローバル物流を支える企業として、常に時代の変化に即応した安全・高品質で効率的なサービスの創造に取り組んでいます。
--

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	電気・ガス・水道・車両用燃料等の管理を行い、CO2 排出量の削減を目指す ・エコアクション 21 認証取得(2021 年)	CO2 排出量削減目標：15%(2019 年度比)
□環境 ✓社会 ✓経済	BCP の継続的改善により、様々な脅威への対応を行い、事業継続を目指す ・BCP 策定：2017 年	定期的に BCP の内容確認を行い、必要に応じ内容や災害備蓄品の更新を実施 ・人事異動時、備蓄品期限切時等
□環境 ✓社会 ✓経済	健康経営優良法人認定を通じて、社員の健康と働きやすい会社を目指す ・2021 年より継続認定中	2030 年まで継続認定を目指す

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8									
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	SDS入手で化学物質情報を把握、購入量の数値化の見える化(掲示)による管理で購入量を抑制 ・エコアクション21認証取得(2021年)			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	水道の使用量を数値化の見える化(掲示)による管理を実施 ・エコアクション21認証取得(2021年)						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ホームページSDGsページにて情報開示												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	太陽光発電設備設置 ・年間発電量:約350,000kWh ・CO2削減効果:約200,000kg							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	大型荷役車両に再生タイヤ装着を実施												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	安全講習、階層別研修、管理職研修の実施									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	業者と共同にて台風等の強風対策用の空コン固定金具を開発	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	災害発生地域への義捐金贈呈 ・直近はトルコ・シリア地震被災者支援義捐金を日本赤十字社大阪府支部へ贈呈				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

